



## 2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日  
上場取引所 東

上場会社名 千代田インテグレ株式会社  
コード番号 6915 URL <https://www.chiyoda-i.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小池 光明  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長兼経理部長 (氏名) 村田 功 TEL 03-6386-5556  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	28,317	△9.3	2,250	△23.2	2,443	△26.4	1,844	△20.4
2024年12月期第3四半期	31,235	6.1	2,931	25.7	3,322	7.7	2,316	13.2

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 890百万円 (△71.5%) 2024年12月期第3四半期 3,127百万円 (△32.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	188.45	—
2024年12月期第3四半期	220.78	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	47,500	38,080	80.2
2024年12月期	51,306	41,572	81.0

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 38,080百万円 2024年12月期 41,572百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	160.00	160.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期（予想）				160.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	△7.8	2,900	△24.8	3,100	△33.4	2,400	△25.8	263.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、 除外 ー社 (社名) ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期3Q	11,628,929株	2024年12月期	11,628,929株
② 期末自己株式数	2025年12月期3Q	2,509,661株	2024年12月期	1,576,221株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期3Q	9,788,614株	2024年12月期3Q	10,491,787株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

1. 2025年5月13日に公表致しました連結業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。詳細は、本日付の「2025年12月期通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(重要な後発事象の注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、トランプ政権による関税政策の強化に伴い、貿易環境の不安定化が続き各国経済に対する影響が広がりました。また、中東情勢の緊迫化が一段と顕在化し、予断を許さない状況が続きました。米国では、雇用環境は悪化したものの、減税や規制緩和の継続に加え、AI関連産業を中心とした投資が活発化し、国内外からの受注増加を背景に生産活動が堅調に推移しました。中国では、米国以外の外需が拡大し、全体の輸出を下支えしましたが、長引く不動産不況や雇用不安等による内需の低迷が重なり、弱含みの状況が続きました。他のアジア地域では、世界経済の減速や貿易環境の不確実性、米国の関税措置等により成長率が鈍化し、企業景況感や消費者心理の悪化が投資活動の妨げとなりました。

また、我が国経済は、米国の関税措置や地政学リスクの高まりもあり、先行きへの不透明な状況が続きましたが雇用や所得環境の改善、インバウンド需要の拡大などにより、緩やかな回復が見られました。

このような経営環境の中で、中期経営計画で「高付加価値ビジネスの拡大」を掲げ、持続的な成長のために収益力の強化を図るべく事業活動を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は28,317百万円（前年同四半期比9.3%減）、営業利益は2,250百万円（前年同四半期比23.2%減）、経常利益は2,443百万円（前年同四半期比26.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,844百万円（前年同四半期比20.4%減）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

日本は、AV機器のカメラ向けは堅調でしたが、AE機器向けが想定以上に落ち込み、売上高は6,990百万円（前年同四半期比7.9%減）、営業利益は3百万円（前年同四半期比99.4%減）となりました。

東南アジアは、AV機器向けが顧客の販売不振により低調となり、OA機器向けが生産調整により減少し、売上高は10,210百万円（前年同四半期比10.0%減）、営業利益は1,187百万円（前年同四半期比11.9%減）となりました。

中国は、ゲーム機器向けが好調だったものの、OA・AV機器向けの生産移管や減産が影響し、売上高は7,228百万円（前年同四半期比15.2%減）、営業利益は829百万円（前年同四半期比15.3%減）となりました。

北米は、米国の関税政策によりAE機器向けは減産の影響を受けましたが、建材向けの需要が伸び、売上高は3,208百万円（前年同四半期比0.2%増）、営業利益は231百万円（前年同四半期比145.4%増）となりました。

その他は、AE機器向けが底堅く推移し、売上高は679百万円（前年同四半期比18.2%増）、営業損失は11百万円（前年同四半期は26百万円の営業損失）となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,805百万円減少し、47,500百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少2,551百万円及び受取手形及び売掛金の減少471百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ313百万円減少し、9,420百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少305百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,492百万円減少し、38,080百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加236百万円、自己株式の増加2,774百万円及び為替換算調整勘定の減少949百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の通期連結業績予想につきましては、最近の経営環境等を踏まえて、2025年5月13日に公表いたしました通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、2025年11月13日（本日）に公表いたしました「2025年12月期通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2025年12月期連結業績予想の前提となる為替レートを見直し、「1米ドル=145円」を「1米ドル=148円」に変更いたしました。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想	百万円 40,000	百万円 3,500	百万円 3,600	百万円 2,600	円 銭 258.64
今回発表予想	38,000	2,900	3,100	2,400	263.18
(ご参考)前期実績 (2024年12月期)	41,214	3,856	4,655	3,234	310.89

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,168	15,616
受取手形及び売掛金	10,416	9,944
有価証券	500	500
商品及び製品	1,872	1,851
仕掛品	400	418
原材料及び貯蔵品	2,376	2,314
その他	588	492
貸倒引当金	△38	△40
流動資産合計	34,283	31,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,702	14,441
減価償却累計額	△9,237	△9,357
建物及び構築物(純額)	5,464	5,083
機械装置及び運搬具	11,739	11,831
減価償却累計額	△8,474	△8,603
機械装置及び運搬具(純額)	3,265	3,227
工具、器具及び備品	2,461	2,445
減価償却累計額	△2,084	△2,089
工具、器具及び備品(純額)	377	355
土地	2,656	2,660
使用権資産	884	1,011
減価償却累計額	△500	△614
使用権資産(純額)	384	396
建設仮勘定	293	126
有形固定資産合計	12,440	11,849
無形固定資産		
ソフトウェア	324	295
ソフトウェア仮勘定	13	—
その他	0	0
無形固定資産合計	337	295
投資その他の資産		
投資有価証券	2,996	2,951
繰延税金資産	248	277
その他	1,031	1,052
貸倒引当金	△33	△24
投資その他の資産合計	4,243	4,256
固定資産合計	17,022	16,402
資産合計	51,306	47,500

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,716	4,410
短期借入金	1,020	1,020
リース債務	169	177
未払法人税等	430	173
賞与引当金	473	738
その他	1,547	1,500
流動負債合計	8,356	8,019
固定負債		
リース債務	223	149
繰延税金負債	808	854
退職給付に係る負債	294	269
資産除去債務	—	76
その他	49	49
固定負債合計	1,376	1,400
負債合計	9,733	9,420
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,331	2,331
資本剰余金	2,450	2,450
利益剰余金	32,802	33,038
自己株式	△4,361	△7,136
株主資本合計	33,223	30,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,065	1,106
為替換算調整勘定	7,098	6,148
退職給付に係る調整累計額	185	140
その他の包括利益累計額合計	8,349	7,395
純資産合計	41,572	38,080
負債純資産合計	51,306	47,500

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	31,235	28,317
売上原価	22,785	20,475
売上総利益	8,450	7,841
販売費及び一般管理費	5,518	5,590
営業利益	2,931	2,250
営業外収益		
受取利息	235	157
受取配当金	69	83
その他	149	128
営業外収益合計	455	369
営業外費用		
支払利息	14	65
為替差損	13	81
減価償却費	6	7
その他	29	21
営業外費用合計	64	176
経常利益	3,322	2,443
特別利益		
固定資産売却益	2	7
投資有価証券売却益	0	327
特別利益合計	3	335
特別損失		
固定資産除売却損	17	26
特別損失合計	17	26
税金等調整前四半期純利益	3,309	2,752
法人税等	992	908
四半期純利益	2,316	1,844
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,316	1,844

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	2,316	1,844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	220	40
為替換算調整勘定	610	△949
退職給付に係る調整額	△20	△44
その他の包括利益合計	810	△954
四半期包括利益	3,127	890
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,127	890
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当社及び国内連結子会社は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	東南アジア	中国	北米	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	7,587	11,347	8,524	3,200	30,660	574	31,235	—	31,235
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,366	117	856	6	4,346	34	4,381	△4,381	—
計	10,953	11,464	9,380	3,207	35,007	609	35,616	△4,381	31,235
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	539	1,347	979	94	2,961	△26	2,934	△3	2,931

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	東南アジア	中国	北米	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	6,990	10,210	7,228	3,208	27,638	679	28,317	—	28,317
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,129	89	960	3	4,183	0	4,183	△4,183	—
計	10,119	10,300	8,189	3,212	31,821	679	32,500	△4,183	28,317
セグメント利益又は セグメント損失(△)	3	1,187	829	231	2,251	△11	2,240	9	2,250

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結会計期間においては、「その他」に含まれていた「北米」の量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	1,219百万円	1,238百万円

(重要な後発事象の注記)

(自己株式の消却)

当社は、2025年10月16日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却について決議いたしました。

なお、詳細につきましては、同日公表の「自己株式の消却に関するお知らせ」をご参照ください。